

2025年12月15日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

アドバンス・レジデンス投資法人

代表者名 執行役員

樋口 達

(コード番号: 3269)

資産運用会社名

伊藤忠リート・マネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長

東海林 淳一

問合せ先 常務執行役員 住宅事業本部長

工藤 純

(TEL: 0120-938-469)

CDP 気候変動分野「A リスト」（最高評価）選定に関するお知らせ

アドバンス・レジデンス投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2025年CDP質問書に回答し、気候変動の分野において、2年連続で最高評価である「Aリスト」企業に選定されましたので、お知らせいたします。



記

1. CDPについて

CDPは、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営するグローバルな非営利団体です。CDP質問書の内容は、ISSB（国際サステナビリティ基準審議会）の公表した気候関連開示基準であるIFRS S2をはじめ、重要な情報開示基準やベストプラクティスに整合したものとなっています。2025年には、世界の22,100社を超える企業がCDP質問書を通じて環境情報を開示しました。また、世界の運用資産の4分の1以上を保有する金融機関が、投資や融資の意思決定のためにCDPデータを活用しています。

CDPの詳細については、下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.cdp.net/ja>

2. CDP評価結果について

CDPのスコアは、リーダーシップレベル（A、A-）、マネジメントレベル（B、B-）、認識レベル（C、C-）、情報開示レベル（D、D-）の8段階で評価されます。

本投資法人は、2023年より参加し、2025年CDP質問書気候変動分野において、気候変動問題への対応や情報開示がCDPの設ける要件をクリアした高い水準にあることが認められ、2年連続で最高評価であるリーダーシップレベルの「A」スコアを取得し、「Aリスト」企業に選定されました。

3. 本投資法人及び資産運用会社の今後の取り組み

本投資法人及び資産運用会社である伊藤忠リート・マネジメント株式会社は、中・長期的な資産価値の維持・向上のためには、環境配慮、地域社会への貢献及びテナント満足度の向上等を中心としたサステナビリティに関する取り組みが重要であると認識しています。今後につきましても、それらの取り組みを推進することにより、投資主価値の更なる向上を図る方針です。

本投資法人及び資産運用会社のサステナビリティに関する取り組み内容詳細は、下記ウェブサイトをご参照ください。

本投資法人 : <https://www.adr-reit.com/company/sustain/>

資産運用会社 : <https://www.itc-rm.co.jp/sustain/>

以上

アドバンス・レジデンス投資法人とは

伊藤忠グループの資産運用会社「伊藤忠リート・マネジメント株式会社」が運用する、Jリート最大の住宅特化型リートです。東京23区を中心に全国で賃貸住宅を保有しており、住宅という安定したアセットと、Jリート最大級の積立金（剩余金）を活用することで、長期的かつ安定した分配が期待できるディフェンシブ性の高いJリートです。

※「アドバンス」は、伊藤忠リート・マネジメント株式会社が運用する不動産投資法人の共通ブランドネームです。

本投資法人のホームページアドレス : <https://www.adr-reit.com>

資産運用会社のホームページアドレス : <https://www.itc-rm.co.jp/>